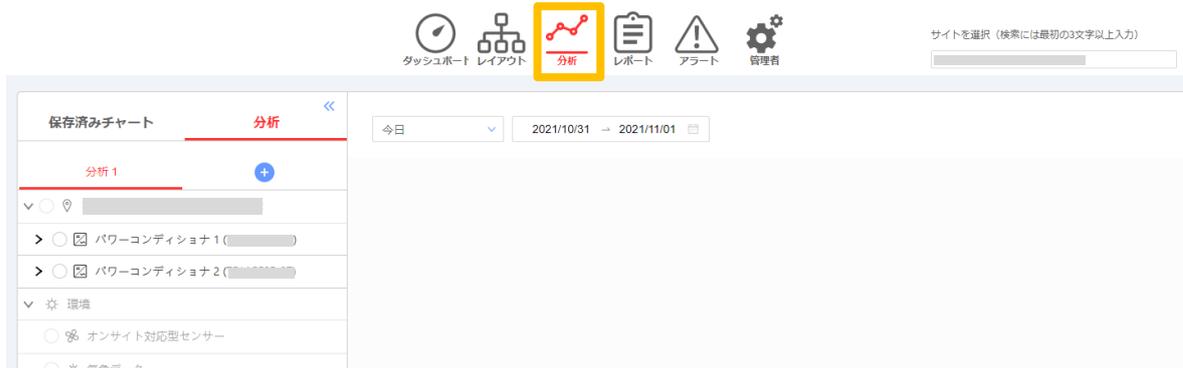


モニタリングポータルを使用した電圧上昇抑制のチェック方法

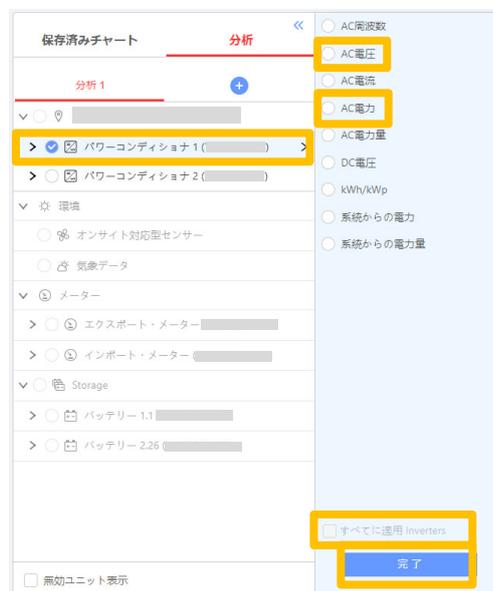
本書類では、モニタリングポータルの分析(チャート)を使用して電圧上昇抑制の影響を受けているかを
確認する方法を説明します。

瞬間電力とAC電圧のチャート表示手順

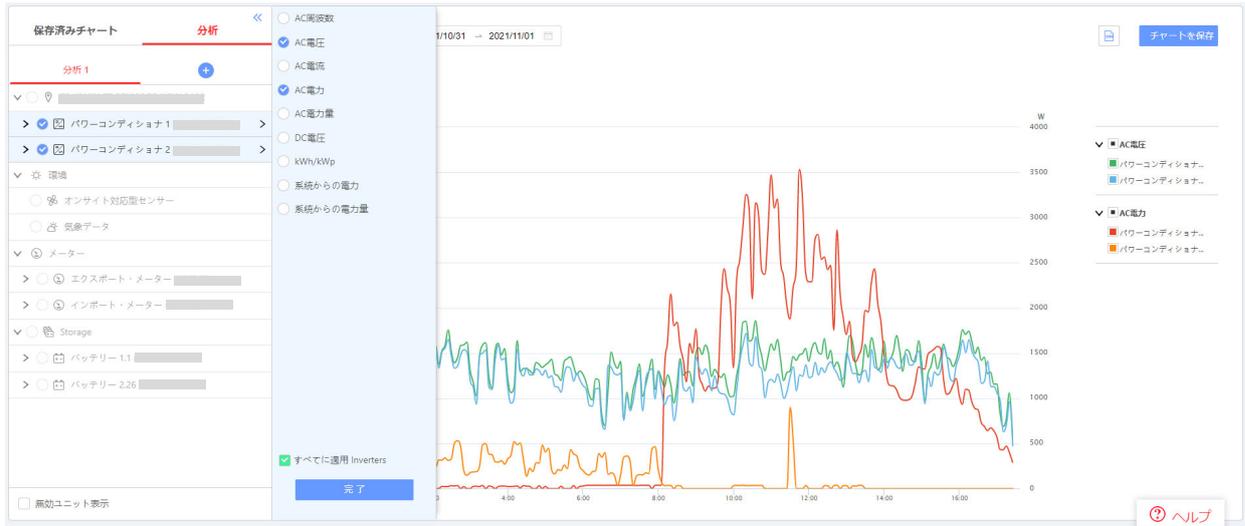
1. モニタリングポータルにログインし、該当の太陽光発電所サイトのページを開く。
2. 分析アイコンをクリックし、分析ウィンドウを表示する。



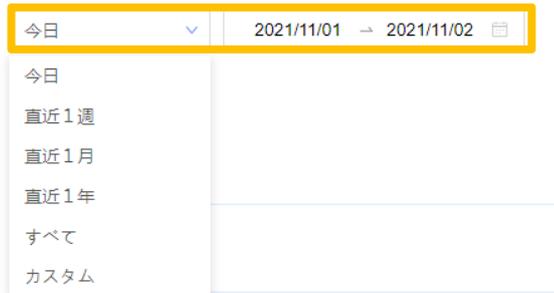
3. 左のリストからパワーコンディショナを1台選択し、表示される選択項目から、“AC電圧”、“AC電力”を選択し、“すべてに適用 Inverters”にチェックを入れ(全てのPCSが選択される)、“完了”ボタンをクリックする。



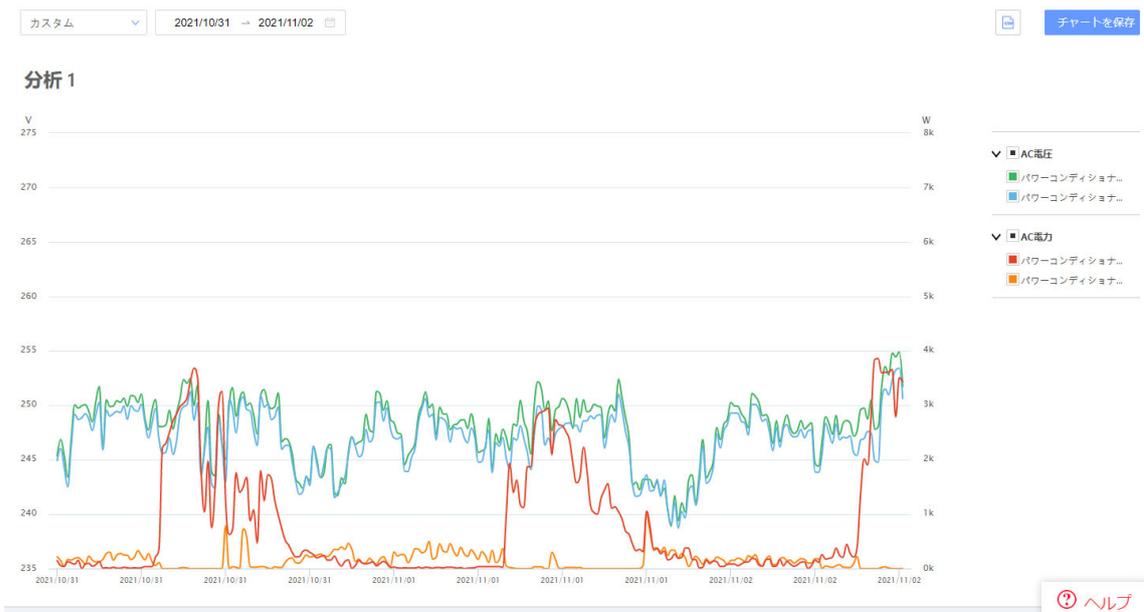
選択した状態



4. 調べたい期間を選択する。



期間が選択され、チャートが表示された状態



瞬間電力とAC電圧のチャート表示手順

AC電圧が上昇抑制開始電圧 (AVR値) より上回っている時間帯に、PCSの瞬間電力が下がっているかを確認する。



注記

管理されているサイトのAVR値は、電力会社からの系統連系保護整定値回答書等をご参考下さい。

以下参考チャートにて、実際に電圧上昇抑制がかかっている時のチャートの見え方の例をご確認ください。

参考サイト情報 : SE25K 低圧

PCSのAC定格出力=24.75 kW

電圧上昇抑制開始電圧(AVR値)=242 V

チャートには、瞬間電力とAC電圧(3相)が同時に表示されている。

242V(AVR値)以上の時間帯があり、その時間帯はAC定格出力より出力が低下していることが分かる。

一時的だが248V以上になることがある。AC電圧が高い理由が系統側の電圧が高い可能性あり。

参考チャート

